

令和3年5月12日
枚方市提供

高齢者施設入所者での新型コロナワクチン接種における誤りについて

このほど、高齢者施設での新型コロナワクチン接種において、通常3週間の間隔をあける2回目の接種について、13日間で実施したことが判明いたしましたので、次のとおり報告するものです。

今後このような事案が発生しないよう、再発防止に取り組んでまいります。

1. 経過

枚方市は、ワクチンの供給量が限定される中、高齢者の接種について、クラスター予防的防止の観点から、高齢者の入所施設から順次接種を開始している。今回誤接種が生じた施設に対して5月6日（木曜日）に接種するワクチン10名分（2バイアル）を配送したが、施設の認識誤りにより5名のみ接種を行っていた。それに気づき、ワクチンの使用期限（冷蔵保存5日間）である5月10日（月曜日）の午前中に新たに5名分の接種を実施した際に、4月27日（火曜日）に1回目の接種を行った方を誤ってリストアップし、接種を行ってしまった。

2. 内容

市内施設入所の90歳代女性1人に対し、本来、1回目接種から3週間（標準的には20日間の間隔）を置いて、2回目の接種を行うファイザー社製新型コロナワクチンについて、誤った間隔で2回目の接種を行った。

- ・1回目接種日 令和3年4月27日
- ・2回目接種日 令和3年5月10日

3. 対応について

ご本人に対し、施設内での十分な体調管理、経過観察に努めており、現在のところ、対象者に副反応などは認められていない。

4. 再発防止について

施設内において、接種履歴（接種済み証）の確認、接種前の予診票の確認等を徹底し、国の手引きにおいて示されている「間違い接種チェックリスト」等の活用等により予防接種に係る間違いの発生防止に努める旨を改めて周知する。

ご本人やご家族に心からお詫びするとともに、再発防止を徹底してまいります。

<問い合わせ>

枚方市新型コロナワクチン接種対策室
電話 072-841-1221（内線 3896）